

昭和五十四年十二月招集

第三回館山市議會臨時會會議錄

館山市議會



# 目次

日時	二
場所	二
出席議員	二
欠席議員	二
出席説明員	二
出席事務局職員	二
議事日程	二
開会	二
議長の報告	二
議案の配付	三
会議録署名議員の指名	三
会期の決定	三
議案第六十八号乃至議案第七十一号	三
提案理由の説明	三
議案の訂正	五
神田 守隆君の質疑、当局の応答（議案第六十八号）	五
古賀礼四郎君の質疑	六
委員 会付託の省略	六
採決	七
神田 守隆君の質疑、当局の応答（議案第六十九号）	七
石井 輝久君の質疑、当局の応答	七
吉田勇治郎君の質疑、当局の応答	八
石井 輝久君の質疑、当局の応答	八

菊井 敏博君の質疑、当局の応答（議案第六十九号）	一〇
五十嵐 昇君の質疑、当局の応答	一〇
委員 会付託の省略（議案第六十九号）	一二
採決（議案第七十一号）	一二
閉会	一二
本日の会議に付した事件	一三

一、昭和五十四年十二月二十七日(木曜日) 午前十時

一、館山市役所議場

一、出席議員 二十八名

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 一 番 神 田 守 隆     | 二 番 石 井 謀       |
| 三 番 網 島 憲 治     | 四 番 横 溝 功       |
| 五 番 福 原 勤       | 七 番 古 賀 礼 四 郎   |
| 八 番 石 井 昌 治     | 九 番 松 下 正 己     |
| 一〇 番 穴 戸 寿 夫    | 一 一 番 林 豊       |
| 一 二 番 栗 原 一 雄   | 一 三 番 近 藤 好 雄   |
| 一 四 番 渡 辺 昭 夫   | 一 五 番 伊 藤 幸 太 郎 |
| 一 七 番 黒 川 平 治   | 一 八 番 流 山 源 次 郎 |
| 一 九 番 石 井 輝 久   | 二 〇 番 石 井 武 敏   |
| 二 一 番 吉 田 勇 治 郎 | 二 二 番 藤 田 益 治   |
| 二 三 番 菊 井 敏 博   | 二 四 番 和 田 一 郎   |
| 二 五 番 五十 嵐 昇    | 二 六 番 伊 賀 多 朗   |
| 二 七 番 石 井 正     | 二 八 番 安 澤 德 順   |
| 二 九 番 安 西 益 男   | 三 〇 番 山 口 康     |

一、欠席議員 一名

一 六 番 押 元 稔

一、出席説明員

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 市 長 半 澤 良 一         | 助 役 小 倉 澄 男     |
| 収 入 役 長 谷 川 広 治     | 総 務 部 長 鈴 木 弘 道 |
| 経 済 部 長 太 田 博 雄     | 水 道 課 長 庄 司 利 光 |
| 教 育 委 員 会 長 山 口 武 重 | 教 育 長 安 田 豊 作   |
| 委 員 長               |                 |
| 一、出席事務局職員           |                 |

事務局 局長 高 尾 豊 事務局長補佐 石 井 敏 夫  
書 記 兵 藤 恭 一 書 記 鈴 木 哲  
書 記 庄 司 徹 書 記 嶋 田 範 夫

一、議事日程

昭和五十四年十二月二十七日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

議案第六十八号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について

議案第六十九号 昭和五十四年度館山市一般会計補正予算(第三号)

日程第三

議案第七十号 昭和五十四年度館山市ユースホステル特別会計補正予算(第一号)

議案第七十一号 昭和五十四年度館山市水道事業特別会計補正予算(第三号)

開 会 午前十時三分開会

○議長(石井 正君) 本日の出席議員数二十八名、これより昭和五十四年第三回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議 長 の 報 告

○議長(石井 正君) 本臨時会議案審議のため、地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

## 議案の配付

○議長（石井 正君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

## 会議録署名議員の指名

○議長（石井 正君） 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

七番議員古賀礼四郎君、二三番議員菊井敏博君、以上兩名を指名いたします。

## 会期の決定

○議長（石井 正君） 日程第二、会期の決定を行います。

本臨時会の会期につき議会運営協議会の意見は本日一日ということとあります。

お諮りいたします。会期を本日一日と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて会期は本日一日と決定いたしました。

## 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第三、議案第六十八号乃至議案第七十一号の各議案を一括して議題といたします。

## 提案理由の説明

○議長（石井 正君） これより各議案の提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 年末慌ただしい中を急遽臨時市議会を招集しましたところ、議員各位におかれましては御多忙の中を御出席賜わり、まことにありがとうございます。

今回、急施を要する案件として御審議をお願いいたします議案は、職員の給与改定に関する条例一件、補正予算関係三件であります。

まず、議案第六十八号鎮山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてであります。去る八月十日国家公務員の給与の改定について人事院の勧告があり、十二月十一日臨時国会にて可決され、また果職員については、十月二十六日県人事委員会の勧告により、十二月十九日県議会において議決され、いずれも本年四月一日から適用することとなりました。

これにより、本市としても他との権衡を図るため、一般職員に適用する給料表その他扶養手当、住居手当、通勤手当等職員の給与について改正をしようとするものであります。

以下、順次改正しようとする事項を御説明いたします。

まず、第七条第三項は、扶養手当の一部改正であります。配偶者について九千円を一万円に、配偶者以外の扶養親族のうち二

人までの者についてはそれぞれ二千七百円を三千円に、職員に配偶者のない場合にあっては、そのうち一人については五千五百円を六千五百円に改めようとするものであります。

第七条の第三項及び第二項の改正は、住居手当の一部改正であります。一カ月当たり六千円を超える家賃を支払っている職員に対し支給していたものを七千円を超える職員に対し支給することに改め、支給月額が家賃と七千円との差額が、七千五百円に達するまではその差額とし、その差額が七千五百円を超えるときは、その超える額の二分の一の額を五千五百円を限度として七千五百円に加算した額に改正するもので、これにより最高支給限度額は一万二千五百円が一万三千円に改められるものであります。

第八条第二項は、通勤手当の一部改正であります。これは交通機関を利用する職員で一カ月の運賃等が全額支給限度額一万五千円を超えることとなるときに加算することとされている二分の一加算の限度額を月額二千円を二千五百円に改め、通勤手当の最高支給限度額を一万七千円から一万七千五百円に改めるものであります。

別表第一及び第二の改正は、行政職給料表及び教育職給料表についての一部改正であり、果に準じて改めようとするものであります。

附則第一項の規定は、条例の施行期日に関して規定したもので、公布の日から施行し、昭和五十四年四月一日から適用しようとするものであります。

附則第二項の規定は、住居手当の改正によりその支給額が従前の額より下回ることとなる者については、昭和五十五年三月三十

一日までは改正後の規定にかかわらずなお従前の例によるものとするものであります。

附則第三項の規定は、改正前の条例によつてすでに支払われた給与は、今回の条例改正に伴う給与の内払いとみなす規定であります。

次に、議案第六十九号昭和五十四年度館山市一般会計補正予算第三号についてであります。歳入歳出予算補正として歳入歳出それぞれ六千四百三十一万六千円を追加し、総額八十四億八千六百四十四万七千円とするものであります。

この内容の主なものとしては、各款にわたつて人件費の補正がありますが、これは先ほど御説明申し上げました給与改定に伴うもので、当初予算に改定費として二・五%を見込んでありますので、今回この差額並びに人事異動等に伴つての各科目の増減額について補正しようとするもので、総額一千八百九十三万七千円の追加となります。

教育費としては、かねてから船形小学校校地拡張について地元期成会の御協力をいただいており、現在まで地主と話のまとまりました現校舎北側の土地について、三千六百七十五万円で買収しようとするものであります。

また、災害復旧費として、八月及び十一月の大雨による災害について今年度の国の補助災害に認定される見込みとなりましたので、この関係費八百五十五万円の追加をお願いしようとするものであります。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これが財源として国庫支出金及び市債の特定財源のほか一般財源

をもつて充当しようとするものであります。

このほか、債務負担行為の補正であります。城山公園につきましては将来さらに拡充整備していく方針であり、県道から公園に通じる現道路は狭くしかも拡幅できない状況にありますので、これが解消を図るため旧国鉄バスが使用していた土地を買収しようとするものであります。これが買収費について国または県の補助対象となるのが五十五年度以降になりますので千葉県地方土地開発公社に買収を委託し、補助対象となる年度に市が買収しようとするものであり、これが債務負担行為についての議決をお願いするものであります。

また、地方債補正については、船形小学校用地購入に伴つての補正であります。

次に、議案第七十号昭和五十四年度館山市ユースホステル特別会計補正予算第一号及び議案第七十一号昭和五十四年度館山市水道事業特別会計補正予算第三号につきましては、いずれも一般会計補正予算と同様の趣旨による人件費の補正であります。

以上、各議案に対する提案理由について御説明を申し上げます。たが、いずれの案件も急施を要するものであります。何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げ提案理由の説明を終わります。

○議長（石井 正君） 以上で提案理由の説明を終わります。

## 議 案 の 訂 正

○議長（石井 正君） ただいま市長より、議案についてミスプリントがありますので、訂正を要する提案がございましたので、こ

れを許したいと思ひます。

説明を願ひます。

○総務部長（鈴木弘道君） まことに申し訳ございませんけれども、会議案の第二五ページ、補正予算給与費明細書でございすけれども、この特別職の補正後との区分でございす。長等が三、議員三十、その他千六百九十六でございまして、計が千七百二十八とございすけれども、千七百二十九名でございす。

○議長（石井 正君） よろしゅうございすか。——以上で訂正を終わります。

## 質 疑 応 答

○議長（石井 正君） これより各議案の審議を行います。

まず、議案第六十八号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について御質疑を願ひます。

○一番（神田守隆君） 議案第六十八号の職員の給与条例の問題ですけれども、一般職の職員の給与を人事院の勧告に沿つて引き上げを図る、こういうことで、それ自体としては非常に結構で、ぜひ私もその点についてはやっていただきたいと思うわけでありますが、先だつて私が質問いたしました調整手当の問題について、「検討する」という答弁を得ているわけですけれども、この問題についてはどのように職員の給与の改善という問題で検討されておるのか、その点についてお伺いしたいと思ひます。

物価の調整手当ということで、館山市の物価が、物価調整手当を支給するに足るだけの内容があるということでの物価調査、あるいは他市町村での支給の実態調査、こういうことについてのど

ような結論を得たのか、御説明願いたいと思います。

○総務部長（鈴木弘道君） 調整手当の關係につきましては、現在

県下で支給している市の状況並びに県内の市を抽出いたしまして  
物価調査等を現在やっている状況でございまして、調整手当につ  
きましての現在までの進捗状況は以上のような段階でござい

○一番（神田守隆君） 調査がいま継続中でまだ結論を得ていない  
というふうに理解するわけですけれども、大体いつごろの時期に  
この問題についての調査を終えて判断をされるのか、そこらにつ  
いての考えがあれば御答弁願いたいと思います。

○総務部長（鈴木弘道君） なるべく早い時期に調査内容等を検討  
して結論を出したいというふうに思っております。

○一番（神田守隆君） なるべく早い時期ということでありすけ  
れども、なるべく早いにこしたことはないわけですから、そのこ  
と自体全く異論はないわけですが、この問題について少な  
くとも今年度中に何らかの考え方が出てしかるべきではない  
かと思いますが、そこいらについての市長さんのお考えはいかが  
でしょうか。

○市長（半澤良一君） ただいま総務部長答弁いたしましたように  
なるべく早く結論を出したいと思いますが、諸般の事情もありま  
して、そう簡単に結論は出ないように思いますけれども、御趣旨  
に沿うような方向で検討いたしたいと思ひます。

○一番（神田守隆君） なるべく早くということ、御趣旨に沿う  
ということでありすけれども、私どものほうも早い時期に、や  
はり職員の皆さん方が気持ちよく仕事をしていけるというよう  
な状況をひとつつづいていただきたいことを要望いたしまして、終

ります。

○七番（古賀礼四郎君） 六十八号の議案ですが、一般国家公務員  
の行政職の給料表に比べまして本市の職員給料表というのは悪く  
ありません。初任給からして五千二百円違います。二十年後の職  
員が平均十八万円ということですが、国家公務員の二十年勤務の  
額をしますと十三万円ということ、二十年たりますと五万円の  
差が出てきています。

こういうことで、本市の今回の改正案に反対するものではあり  
ませんが、安易に国家公務員が上げたから地方公務員がそれに従  
うという既得権の獲得、こういうものをこの時勢にかんがみまし  
て、もつと慎重に、十分この報酬に値するだけの仕事をしていた  
だきたい。単に、国家公務員、県が上げたから市もこれになら  
て上げるといふことではなくて、もう少し限られた人数で大いに  
働いてやつていただきたいと要望するものであります。

以上であります。

○議長（石井 正君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑な  
しと認めます。よつて質疑を終ります。

#### 委員会付託の省略

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本案を委員会付託並びに討論を省略、直ちに採決することに御  
異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて決定いたし  
ました。



## 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて本案は原案どおり可決されました。

## 質 疑 応 答

○議長（石井 正君） この際お諮りいたします。

議案第六十九号乃至議案第七十一号の各会計補正予算については一括して審議を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて決定いたしました。

御質疑を願います。

○一番（神田守隆君） 三点ばかり質問いたします。

教育費の中で、船形小学校の校地拡張ということでありますけれども、校地拡張の面積、何坪、何平米といえますか、どのくらいの面積の拡張を図るという内容なのか。

それから、災害復旧の面ですけれども、どここの災害復旧をされるのか。

それから、城山の旧国鉄の用地の、債務負担行為で行う買収の問題について、これもどのくらいの面積を取得するということな

のか。

——船形小学校の用地購入の件については、質問を取り下げます。

○経済部長（太田博雄君） 今回補正でお願いいたしました災害の場所でございますが、一カ所は船形にございますどんん川のある橋から三百メートルぐらい上流のところの護岸の決壊でございます。それから、洲宮布沼線と申しまして、神戸の赤尾商店のわきから入りましてT字路になつております、そこを左に参りましたその道路でございます。そこに二カ所。計三カ所でございます。それから、国鉄の用地の買収の面積でございますが、千二百二十平米でございます。

○議長（石井 正君） 他に御質疑ございませんか。

○一番（石井輝久君） 御質問申し上げます。

会議案の二七ページの下段に、平均給料月額、平均年齢として一般行政職、幼稚園教育職、技能労務職、それぞれ示されておりますが、一覧表の内容はわかりますけれども、参考のためにこの改定後、つまり区分の上の欄で、一般行政職、幼稚園教育職、技能労務職、それぞれ平均年齢と平均給料月額が県下で一体何番目にあたるのか承りたいと思います。

同時に、改定後のそれぞれの一般行政職、幼稚園教育職、技能労務職の県下の最高と最低の市はどこであるか、そしてまたそれぞれの年齢、平均給料月額について参考までに御説明を承りたいと存じます。

○総務部長（鈴木弘道君） ただいまの質問、資料を取り寄せますので、ちよつと時間をいただきますと思います。

○議長（石井 正君） 他に御質疑ありませんか。

○二一番（吉田勇治郎君） ちよつとお伺いしますが、債務負担行為、館山市計画公園用地取得について、これに関連してお伺いいたします。

城山公園の入口が取得できたということは非常に喜ばしいことで、城山開発には最も慶事だと、かように考えるわけですが、それにつきまして城山の山頂裏側の方ですか、あそこらへんには非常に「私」の土地があるわけでございます。そういうような土地買収の計画、城山公園の長期的展望というものはいかようなものがあるか、ひとつ教えていただきたいと思うわけでございます。

と申しますことは、私有の土地は今後の城山の開発については重要な位置に属してあるわけで、所有者本人の考え方としては、これはやはり個人に譲渡すべきものじゃないということで、館山市の考え方には全面的に協力の意を表しているやに承っておりますが、そういう点等を踏まえて早期にそういう土地の取得計画があるかないか、お伺いいたしたいと思います。

以上。

○経済部長（太田博雄君） 城山の南側の私有地のことだろうと思うわけでございますけれども、前回の定例会におきまして基礎調査の委託料をお願いいたしまして、現在お願いしてあるわけでございしますが、土地につきましては三段階に分けて私たちは考えておるわけでございます。一応まだ地主にはそういうたお話はしてございませぬけれども、私どもの図面の中には一応計画として入れているものもあるわけでございますが、早急に買収する予定はあるかと申されますと、ちよつとまだそこまでは、計画の段階で、

三段階の中には、早急にというふうにまでいつておりません。

○二一番（吉田勇治郎君） 城山の開発に非常に熱意を示されて、まず難関の入口が取得できたということになりますならば、やはり総合的な、将来を見越した計画が必要じゃないかと思いますが、その点について市長の見解を承りたいと思います。

○市長（半澤良一君） ただいま建設省の外郭団体でございます公園緑地協会というのがございまして、そこに城山の総合的な開発計画、城山公園整備計画を依頼をしておりますので、その計画の中で長期的展望に立つて計画を樹立いたしまして、進めていきたいと考えているところでございます。

○二一番（吉田勇治郎君） ただいまの市長さんの構想は、真に実のあるものとするならば、やはり大事な要所については速やかに今後の方針を決定されることが必要かと、かように考えるわけです。私たちとしては、貴重な土地はやはり得がたいものであるがゆえに、機を失しないことを要望いたしまして、質問を終わります。

○一九番（石井輝久君） 二一番議員の御質問に関連いたしまして、一点だけ御質問いたします。

東西南北の位置は詳細には承知しておりませんが、あそこにてたしか字城山三七一番の二、三七一番の三と館山市所有の、登記簿謄本上館山市所有地が二筆あると思いますが、承知しておりますでしょうか、御質問いたします。

○経済部長（太田博雄君） ちよつと資料を取り寄せますので……。

○議長（石井 正君） 最初のほうの答弁保留のものについて。

○総務部長（鈴木弘道君） 現在、各市で給与条例等の改正を行っているわけでございまして、今回の改定後の状況は現在資料がど

さいませんので、現在わかる範囲内で答えたいと思います。

ことしの四月一日現在、改定前の状況でございますけれども、一般職員につきましては平均給料月額が十四万九千四百円でございまして、一番高いところが当市でございまして十七万四千二百円でございます。一番最低は鎌ヶ谷市の十二万七千三百円でございます。それと、技能労務職でございますけれども、平均が十三万二千四百円でございまして、一番高いところは市原市でございまして十六万六千四百円、一番最低が東金市で十一万一千八百円でございます。当市が十三万一千七百円でございます。幼稚園教員でございまして、平均が十四万七千六百円でございまして、一番最高が銚子市の十八万七千二百円、最低が鴨川市で十一万七千七百円、当市は三番目でございまして十六万六千五百円でございます。

○一九番（石井輝久君） 御説明で、なるほど各市でまちまちに条例改正、それから補正を組んでおるようでございますから、今日ただいま現在の詳細なデータはお持ちではない、当然だと思えます。あとはこれ以上御質問申し上げますけれども、おそらく一般行政職について言いますと、先般も御質問申し上げましたけれども、おそらく改定前で県下最高だつたんで改定しても大体同率でアップしていくとすればやはり最高になると思うんです。ただいま御答弁の中にはございませんでしたが、年齢でございますが、改めて御説明賜るつもりはございませんけれども、年齢につきましてもおそらく県下最高じゃないかと思えます。

先般も御質問申し上げましたが、あとは意見にまがりますか

ら、これ以上発言はいたしませんけれども、人件費の増高傾向というのはいくつを得ないといまして、ずつと県下最高位を占めて、しかも三年前と比較をしますと、一年ごとに動続年数もふえていくわけです。ということ、やめる人が少なく、新規採用が少ないから現在の人員でずつと伸びていく、そうしますと、昭和五十一年四月現在で三十六歳四カ月が平均年齢でございます、それが三十九歳に伸びていくわけです。もう三年経つと四十二歳くらいになりはしないか（笑声）そうすると、それに伴って平均給料額がアップしていきます。ここの点は非常に技術的にもむずかしい問題で、ことに職員の生活がかかっている問題ですから非常にむずかしいと思えますけれども、人件費の増高のこういつた傾向につきまして格段の御検討を——どういふ検討があるかわかりませんけれども、何らかの御検討が必要じゃないかという感じがいたします。

ことに、定年制は法律で施行されておりませんが、六十歳定年というのは大体コンセンサスといえますか、世間の風潮といえますか、合意が得られつつあるようでございますから——けれども、それに何らかの創意工夫を加える必要はないかなという感じがするんで、将来の問題として御検討を要望して質問を打ち切ります。

○経済部長（太田博雄君） 城山の中に市有地があるかということでございますが、二筆あることは承知しております。

○一九番（石井輝久君） たしか地番は三七一番の二から三、この二筆だと思いますが、ただいまの二一番議員の御質問に関連でございますが、城山を早くいい形で開発せられることを要望いたし

まして質問を打ち切ります。

○二三番（菊井敏博君） いまの三七一番の地番の確認についてですけれども、これは私いつか総務委員会の際に問題にしまして土地の確認をしてもらいたいという形の中で、市のほうではこれは館山市の土地ではないというような形の中であいまいだったんですけれども、今度それが——私が言った館山市の土地かという趣旨の確認ができたということですか。それをお聞きしておきたいと思います。

それから、いま二一番議員のほうからありました南側の土地の買収のことですが、開発規制等にかかつて形状変更ができないような場所だと思えますが、その場合、かつて開発公社の中に、一つ問題になりました、土地が使えないという形の中で、地権が止まっている土地だと思うんですけれども、そのような形ものを救済するという形のもと、また、いまの城山公園の開発と非常に合っていると思うんです、南側の土地の問題は、この土地の買収については、果のほうという関係に働きかけて買収してもらおうという考えはないか伺いたします。

○経済部長（太田博雄君） 市有地の関係でございますけれども、ここに確認ができたと申しますか、ここに書面がございますので確認ができたということでございます。

○市長（半澤良一君） 城山公園の南側の土地が、開発が規制されている土地だという御質問でございましたけれども、私そういう点を承知しておりませんので、なお十分調査した上で対処していきたいと思えます。

○二三番（菊井敏博君） 実際、民間人じゃ開発できないような規

制地域になっておりますので、そういう形の中で、市長さんの考え方の中で城山開発、また資料館の建設等、この前五十嵐議員さんの質問の中で非常な構想を持たれているというように私も見受けられるので、重要な場所でございますので、十二分に検討して前進させていただきたいということを要望いたしまして終了です。

○二五番（五十嵐昇君） 二一番議員の御質問に関連いたしました、二、三市の御姿勢をお伺いいたしたいと存じます。

先般の通告質問で、城山の北側の富士興産所有の土地につきまして利用計画をお尋ねいたしましたのでございますけれども、公園緑地協会に託して具体案を作成する段階になつておる、こういうことで、その北側の富士興産所有の地所の買収の時期であるとか、あるいはその土地の利用目的等につきましては明らかにされておらないのでございます。

そこで、館山市の幼稚園の設立計画につきまして、あの土地へぜひ移転してもらえないかという地元父兄の強い要望がございますので、その点につきまして御質問を申し上げるわけでございます。

あの土地が、将来どういう目的のために利用されるのか。またあの土地が幼稚園の敷地として不適當である、どういふ点をもつて不適當であるのかどうか。そういう点につきまして御質問を申し上げます。

なお、城山公園の登山の道が狭いので国鉄用地を買収して云々という今回の提案理由でございますけれども、あの国鉄用地を買収いたしましたも、まだ城山に通ずる道につきましてはその中に

私有地がたくさんあるのでございます。したがってその私有地の買収は、この国鉄用地の買収と兼ね合わせて行わなければ国鉄用地だけを買つても何にもならない。もしも私有の用地が買えない場合にはその土地が無用になつてしまふ、こういう状況にあるわけでございます。あの国鉄用地の買収と合わせて城山の登山の私有地の買収にかななければ何にもならない、こういうことになるうと思ひます。

したがって、私有地の買収を兼ね合わせて行わなければならないということになるのでございますけれども、さて私有地の買収につきましては、やたらに農民の土地を買い上げるといふわけにはまいりませんし、また農民側といたしましても安易に市に協力するということになりかねると、こう思うものでございます。地元議員といたしましては、市に協力をいたしまして、あの国鉄用地に連結する城山の登山道につなぐ私有地買収につきましてはすぐにもやはり根回しをして、そして地元所有者の農民の方々の御協力を得るということでなければ、とてもじゃないけれども買収は不可能である。われわれ地元議員といたしましては、あの先の私有地の買収につきまして協力をいたします関係上、何か先の用地が必要であるという市の側の強い希望条件と申しましようか、用途、目的とでもいまいましようか、そういうものがないと根回しできない現状にあるうかと存じます。

したがって、われわれ地元議員といたしましては、市に協力する意味から、何か城山がこういう規模の、こういう公園になるんだというふうな青写真でもない、やたらにこうなるんだよ、あなるんだよ、こういうふうにつくるんだ、ああいふふうにつ

くるんだといつても、結局口頭禅に終つてしまふわけで、根拠が非常に薄弱になり説得力がない、こういうことになるかと存じます。したがって城山公園の開発につきまして青写真を早急につくつていただきたい、青写真もいつごろできるのか、市の御計画がございましたら、それも早急に、われわれ地元議員に、買収に直接関係いたします者に具体案を御説明いただきたい、こう考えるわけであります。

以上二点、南側の富士興産の買収はいつごろになるのか、あるいはその目的は何なのか、館山幼稚園の移転に何か関係づけられないかという点。さらに二点といたしまして、国鉄用地が買収できそう、その先の私有地につきまして、市の買収の根回しとして、具体的な青写真でも早急に準備していただけないか、それがいつごろまでに準備できるのか。こういう二点につきまして具体案をもう少し御説明いただきたい、こう存ずるものであります。

○経済部長（太田博雄君） 城山公園の総合的な計画につきましては、先ほど市長が申し上げましたとおり緑地協会のほうにお願いしてあるわけでございます。それも富士興産の土地を含めてでございます。

あとの、市の計画をもつて地元の方へということでございますが、私どものほうはアウトラインだけはまとめまして、来年早々、地元の皆さま、議員さん方々の御協力を得たいと考えています。

○二五番（五十嵐 昇君） 公園緑地協会の作成の具体案をまつて具的的な計画をつくつていくというお話でございますけれども、それがいつごろまでに市のほうに内示されるのか。ただ漠然と協会のほうに依頼してあるからそれ待つんだということではなくて、

具体案はいつごろまでに協会のほうで作成されるのか。

○経済部長（太田博雄君） 緑地協会のほうは今年度内という形でお願ひしてあるわけでございますけれども、市独自としてのアウトラインは私どものほうで大体作成できますので、早速つくります。年が明けましたらまた皆さま方の御協力方をお願いに参りたいと思います。

○二五番（五十嵐 昇君） ただいまの説明で、第一の質問に対する御検討はよくわかつたわけですが、第二のいわゆる国鉄用地の買収の先の民有地の買収等につきまして、交渉の根回しをするという意味の具体的なものを作成していただきたい、青写真のなものをつくつていただいて、こういう具体的な計画でつくつていくんだよ、こういうふううに城山公園が開発されていくならば県下でも有数の立派な公園にもなるんだよ、それについては観光目的と合わせて館山をPRするという点から重要な意味を持つんで、ぜひともこれを市に提供してほしいというふうな意味合いで交渉をもつていかなければならないと存じます。まだ五十五年以降になるうかと思うんですが、国鉄の買収と合わせて民有地の買収に取りかからなければならぬと、こう思うのでございますが、その点。

○経済部長（太田博雄君） ただいま五十嵐議員さんのおつしやいましたような点につきまして、私どものほうは、最終的な緑地協会の結果を待たない前に、市としてアウトラインの計画をもちまして、私有地の買収方も合わせて地元の皆さま、議員の皆さま方の御協力を得たいと考えているわけでございます。

○二五番（五十嵐 昇君） 以上、了承いたします。ありがとうございます。

ございました。

○議長（石井 正君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よつて質疑を終ります。

#### 委員会付託の省略

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

議案第六十九号乃至議案第七十一号各会計補正予算については委員会の付託並びに討論を省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて決定いたしました。

#### 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

議案第六十九号乃至議案第七十一号の各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よつて議案第六十九号乃至議案第七十一号の各会計補正予算はいずれも原案のとおり可決されました。

#### 閉

会 午前十時五十四分閉会

○議長（石井 正君） 以上で本臨時会に付議されました案件はすべて議了されました。

よつて、これにて第三回市議会臨時会を閉会いたします。

○ 本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、議案第六十八号乃至議案第七十一号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会議長

石

井

正

館山市議會議員

古

賀

礼四郎

館山市議會議員

菊

井

敏博

